

土木学会選奨土木遺産制度と

本年度の選奨土木遺産について

土木学会北海道支部
選奨土木遺産委員会

平成29年11月17日 土木の日記念行事

土木学会北海道支部80周年記念行事

土木学会 選奨土木遺産制度

- ・ 制度の目的
 - ・ 国土造り，土木の営みを正しく認識し，伝える
 - ・ 建設の技術開発，その後の維持管理など多くの努力を顕彰する
 - ・ 地域のまちづくり資源として，現在の価値を持つことアピールする
- ・ 平成12（2000）年度に創設。
 - ・ 本年度で18回目／今年度は全国で23件が選奨された。
 - ・ 今年度は，橋梁9，隧道3，治水・砂防4，水道2，港湾2，発電・電力2，道路1
 - ・ 北海道では，これまでに**38件**が選奨されてきた。



平成22年度選奨土木遺産
舞鶴橋（長沼町，昭和11年）

土木学会 選奨土木遺産制度

- ・ 選奨のプロセス
 - ・ 北海道支部に選考委員会を設置・評価
 - ・ 土木学会「日本の近代土木遺産」調査土木学会北海道支部による調査研究の結果をあわせて、今年度の候補を選択。
 - ・ 候補となった土木施設について、選奨に向けた評価を、支部委員会において実施
 - ・ 管理者の皆様に選奨土木遺産制度の趣旨などを説明し、選奨にご賛同、お認めいただく
 - ・ お認めいただいた支部の候補を、土木学会本部委員会に推挙
 - ・ 平成29年度北海道支部からは2件土木学会本部・選奨土木遺産委員会
 - ・ 各支部の候補についてヒアリングを行い、本部委員会として選定し、理事会で承認受ける



平成23年度選奨土木遺産
虻田発電所

北海道の土木遺産は、 「人間」を教えてくれる

- ぼくら人間について、大地が、
 - 万巻の書より多くを教える。
 - 理由は、大地が人間に抵抗するがためだ。
- 人間というのは、障害物に対して戦う場合に、はじめて実力を発揮するものなのだ。
- サン＝テグジュペリ著
 - 堀口大學訳: 「人間の土地」
 - 新潮文庫」

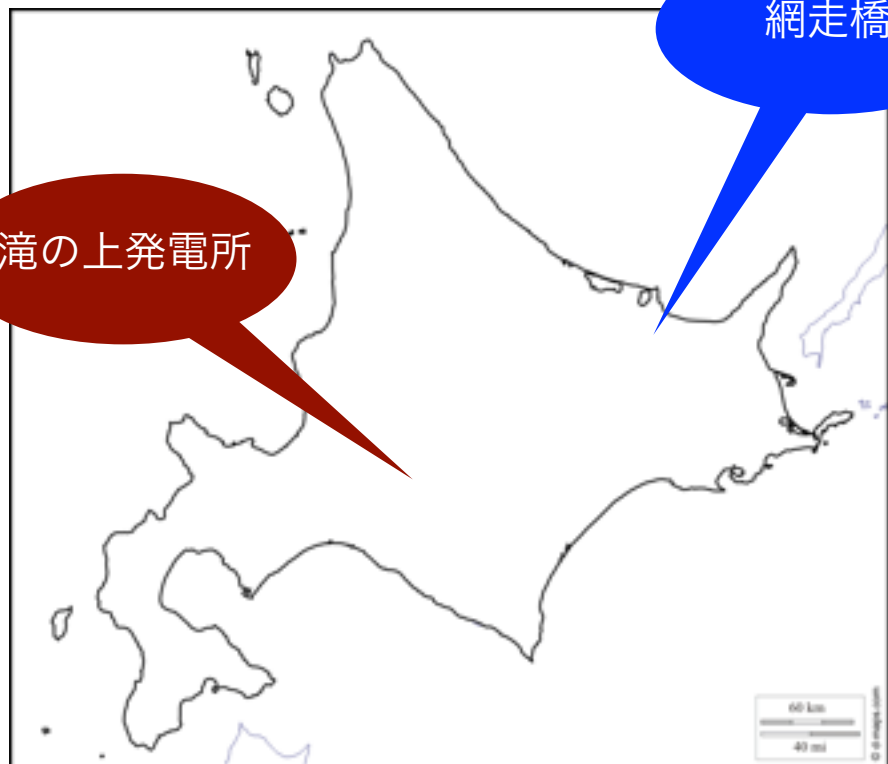
平成23年度選奨土木遺産
夕張川新水路



平成29年度

北海道の選奨土木遺産

- 北海道企業局
 - 滝の上発電所施設群（夕張市）
- 北海道開発局網走開発建設部
 - 網走橋（網走市）



滝の上発電所

網走橋



滝の上発電所施設群

- ・ **竣工年：**
 - ・ 1925（大正14）年
 - ・ （平成28年改修）
- ・ **所在地：**
 - ・ 北海道夕張市
- ・ **管理者**
 - ・ 北海道企業局
- ・ **選奨理由：**
 - ・ 石炭産業の電力化と高圧送電に
え、落差のある岩盤に豎坑を設け
た落水方式を採用し、改修を経て
地域に貢献し続ける水力発電所



網走橋

- ・ **竣工年：**
 - ・ 1934（昭和9）年
 - ・ 昭和49年改修
- ・ **所在地：**
 - ・ 北海道網走市
- ・ **管理者**
 - ・ 網走開発建設部
- ・ **選奨理由：**
 - ・ 街の発展に伴い橋の機能と景観を保った拡幅がなされ、八十年以上に渡り国道橋として活躍する、北海道内現存最古のゲルバー-鋳桁橋



平成29年度 選奨土木遺産から学ぶこと

・ 滝の上発電所施設群

- ・ エネルギーの確保は産業・生活の基礎
- ・ 開発の礎は土木技術
- ・ 地下深くにある資源を掘り出し、産業の源となる影には、エネルギーを確保する、土木技術が存在していること。
- ・ 近代土木技術が、北海道の産業開発に大いに貢献して来たことを改めて確認できる。
- ・ 自然の持つエネルギーを人間の営みに有用なものに変えるのは、土木技術であることを示している。



平成29年度 選奨土木遺産から学ぶこと

- ・ 網走橋
 - ・ 地域開発の礎は土木
 - ・ 地域の人々の思いを受け止め、地域の開発、発展の基礎をつくる仕事が土木事業である。
 - ・ 網走橋の架橋は、北海道北東部が必要とする物資集散地としての網走市街地の拡張に必要不可欠なものであった。
 - ・ そのことは、樺太・千島列島に囲まれ、日本北方の内海であったオホーツク海の扇の要となる拠点港湾都市を育てることでもあった。
 - ・ 第二期北海道拓殖計画時代には、多くの永久橋梁が架設され、多様な構造により技術経験を積むことにもなった



平成29年度選奨土木 遺産から学ぶこと

- ・ 現役の施設である
- ・ 改修を行い、いまでも、大切に使われている
- ・ 当時の先端の技術だけに注目するものではない
 - ・ そのあとの維持管理の大切さ
 - ・ 時代にあわせて機能を補いながら使用する
- ・ 維持管理という、一般に見えない仕事を丁寧に、手間ひまをかけて行ってきた、技術者たちの姿も重なって見えてくる



Heritage そして Property

- **Heritage (遺産)**

- これまで、土木遺産は、代々受け継がれた文化的な遺産として、残すことへの関心
- 「土木の心」「開発精神」アーカイブとしての土木遺産

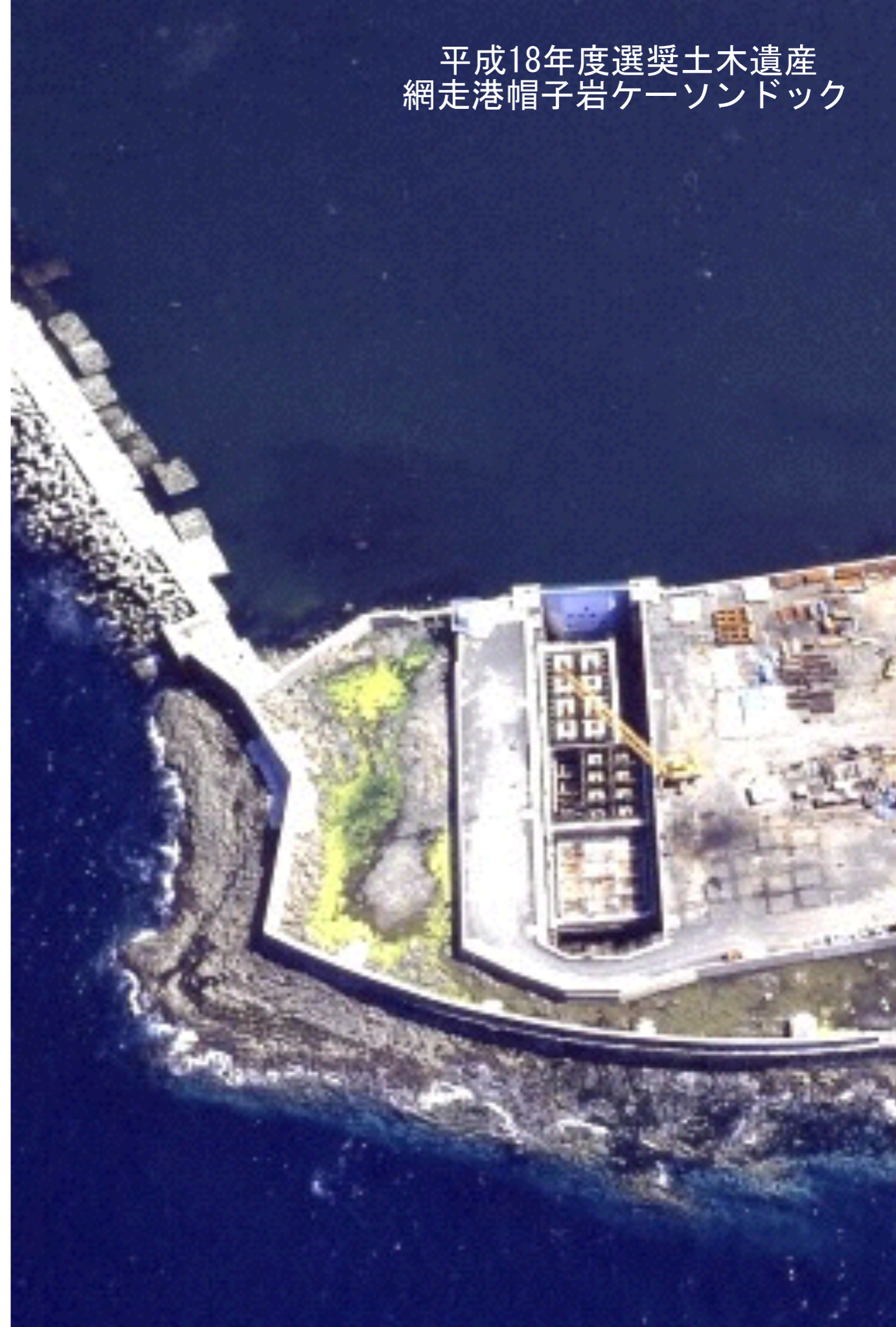
- **Property (資産)**

- 遺産としての価値は変わらないが、これからは、より積極的な意味を持つ「資産」としてとらえる段階に来ている。



記念日の役割

- ・ **記念日は未来を共有する日**
 - ・ 組織にとっての記念日は、人間でいうと誕生日のようなものだ。
 - ・ 現在、そして将来を考える機会である。過去、そして未来を共有する仲間とともに。
- ・ **選奨土木遺産として認定された日は、あらたな記念日**
 - ・ **土木技術者**
 - ・ 土木技術の社会的な意義や価値、未来の技術開発の過去、未来の共有
 - ・ **地域の人々**
 - ・ 地域づくりの主体として、土木の営みとその役割に思いをよせる。わかちあう
- ・ 土木の日は、北海道の近代開発をふりかえり、わかちあい、そして、未来を共有する日として大切にしたい



土木学会100周年 記念出版

- ・北海道支部編集
- ・フロンティアに挑む技術
- ・北海道の開発の歩みと土木工学・
土木技術，そして技術者の営みを
紹介

土木学会
100th Anniversary
JSCE 1914-2014

フロンティアに 挑む技術

最新刊

— 北海道の土木遺産 —

北海道の開発と土木技術の関わり、
それを具体化した土木技術者の
使命感と英知を知る。

本書で紹介する選奨土木遺産

2014年
11月20日
発売

北海道の開発と土木技術

北海道の土木遺産と技術

- 港湾 ● 小樽港北防波堤
- 小樽港斜路式ケーソン製作ヤード
- 網走港帽子岩ケーソンドック
- 稚内港北防波堤ドーム

道路・鉄道 ● 旭橋

- 宗谷線剣淵・土別間鉄道防雪林(深川林地)

治水 ● 生振捷水路

発電・利水 ● 十勝川千代田堰堤

- 雨電発電所

都市づくり ● 函館市の水道施設群

- 道庁正門前木塊舗装・银杏並木

今につながる土木遺産の技術

- 国道36号 札幌千歳間道路(弾丸道路)
- 十勝大橋

■(公社)土木学会北海道支部選奨土木遺産選考委員会 編 ■定価:本体2600円+税
 ■A5判 172頁 ■2014年11月20日発行 ■発行:公益社団法人 土木学会